

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	11	-	事業名	大学連携事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	--------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち		
		分野別項目	3	大学をまちづくりに生かす		
		施策の進め方	-			
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～		
政策分類		7	大学連携の推進			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内4大学をはじめ近隣の大学と連携し、大学・地域・市が協働するまちづくりを推進するため次の事業を行う。 ①大学連携推進協議会、大学連携連絡調整会議等の開催及び協議会主催の連携事業の実施 ②大学から提案のあったまちづくり事業への助成(大学連携提案助成金事業) ③大学連携基本計画の策定				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内4大学及び近隣大学、市民、企業及び行政				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大学と行政の連携事業の推進体制を確立するとともに、市民が大学、行政と連携した事業に様々な形で身近に参加できるようにする。				
	事業を構成する事務事業	① 大学連携事務事業	継続	④		
	② 大学連携提案助成金事業	改善・見直し	⑤			
	③ 大学連携基本計画策定事業	改善・見直し	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	439
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	7,638
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	8,076

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	大学連携事業実施件数	件	目標	-	40	42	30
実績				37	41	21	39	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 大学と連携した事業をより多く企画、実施できるようにするため、本市における大学連携事業実施件数を成果とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 大学との包括連携協定について近隣の実施市町：瀬戸市(大学コンソーシアム)、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町、みよし市、豊田市
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 大学と連携して事業を実施することについては各課へ浸透しつつあり、毎年新規の事業が報告されている。単年度で終了する事業もあり、件数の増加には結びついていないが、市職員はじめ大学、諸団体や市民の大学連携への意識が高まったこともあり目標は達成された。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 大学と市の相互協力が不可欠だが、十分とは言えないため、大学との連携強化を図る必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 大学連携基本計画策定事業を進め、大学と連携した事業をより多く企画、実施できるようにする。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	大学連携事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

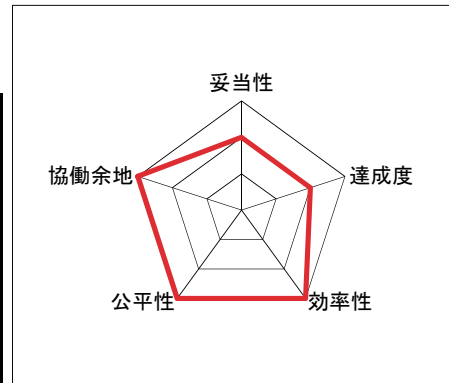
番号	①	事務事業名	大学連携事務事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内4大学をはじめ近隣の大学と連携し、大学連携推進協議会、大学連携連絡調整会議等の開催、学生向けの市長秘書インターンシップ等を実施する。また、大学と市との連携を密にし、情報共有を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市長秘書インターンシップに参加してもらうことで、学生に市政について関心を持ってもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				653
		決算				339

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
協議会及び連絡調整会議実施	回	目標	—	2	6	6	
		実績	—	2	5	4	
市長秘書インターンシップ応募者数	人	目標	—	6	7	7	
		実績	—	6	7	7	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

大学との情報共有をより確実なものにするため、大学連携推進協議会、連絡調整会議を引き続き行い、連携して実施できる事業の検討などを進める。市長秘書インターンシップについては政策秘書課と連携して今後も継続していく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
大学との包括連携協定について近隣の実施市町：瀬戸市（大学コンソーシアム）、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町、みよし市、豊田市

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	大学連携事業										
番号	②	事務事業名	大学連携提案助成金事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域課題の解決及び地域の魅力の向上を目的として実施する事業に要する経費の一部又は全部を助成金として行政と連携する大学に対して交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大学と行政の協働・連携が強化されることによって、大学の地域課題解決力や魅力を向上させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				200
		決算				100

3. 活動推移

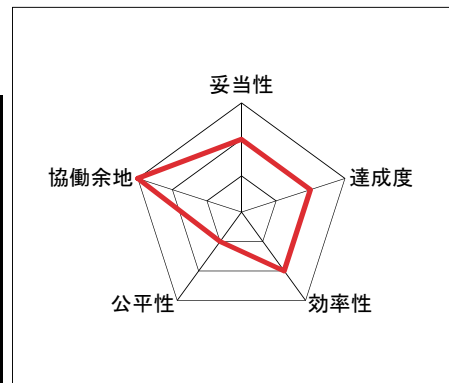
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
提案助成金事業申請件数	件	目標	—	—	—	2	
		実績	—	—	—	1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
助成金等実施状況：大学コンソーシアムせと（大学生によるまちづくり活動応援助成金）、日進市（提案型大学連携協働事業）

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	1
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
27年度から始まった事業であるため、申請件数が少なかった。事業の進め方や周知方法など内容について検討、変更をしながら、今後も継続していく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 大学連携事業

番号	③	事務事業名	大学連携基本計画策定事業									
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内4大学をはじめ近隣の大学と連携し、大学・地域・行政が協働するまちづくりを推進するため、今後の方針を定める基本計画を策定する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 計画的に大学連携事業が進められるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				442
		決算				0

3. 活動推移

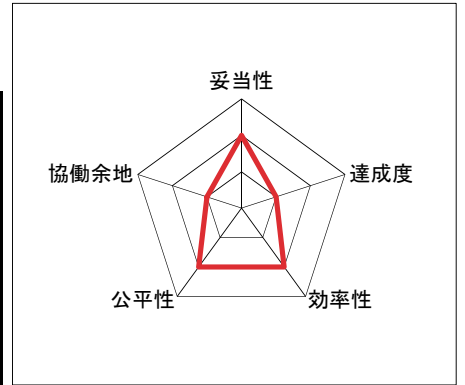
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	2
公平性	2
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
27年度は「リモテラス公益施設基本計画」の中に盛り込んで策定する予定であったが、単独計画として28年度に策定する。計画策定の当初から大学教員等に関わってほしいため、27年度は大学連携推進協議会を通じて携わっていただく教員等の募集・推薦をお願いした。28年度はその応募者と面談し、学生とのワークショップ等を実施し、計画策定を進めていく。